



牛田新町 ふれあい食堂



牛田新町ふれあい食堂実行委員会

1

取り組みのきっかけ・経緯

元々人との
触れ合いが好き



牛田新町で食を通じた
触れあい会がしたい



コロナ禍で
できず



年齢的に
今しかない



知り合いに
声を掛け
15名が賛同

どなたでも
参加自由



牛田新町ふれあい食堂

子ども、高齢者も、近隣地域のどなたでも参加自由です。
孤立・孤食を防ぎ、手作りの温かい食事を一緒にし、地域の
人たちが交流できる、ほっとする居場所づくりをめざしています。

毎月 第3日曜日

11:30~14:00

牛田新町集会所

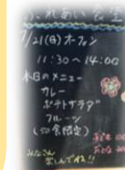
開催日

令和7年上半期

1/19(日) 2/16(日)

3/16(日) 4/20(日)

5/18(日) 6/15(日)



参加費

子ども 100円
大人 300円



場所

牛田新町
集会所
1Fホール

※限定50食 おかわりもあります。
なお、売り切れの場合はご容赦下さい。

※高齢者いきいきポイント手帳を
お持ちの方はご持参ください。

お問い合わせ：牛田新町ふれあい食堂実行委員会

共催：牛田新町ふれあい食堂実行委員会
牛田・早稲田地域包括支援センター

協力：NPO法人こども食堂支援センター
神田山長生園
東区厚生部地域支えあい課
東区社会福祉協議会

2

活動状況・活動内容

令和6年7月開始

参加者 幼児～高齢者まで 50名程度

内 容 毎月のイベント
クリスマス行事
遊べるスペースを作る

食 事 カレー
ハヤシライス
季節の料理など

活動の様子



3

取り組みにあたり 工夫したこと・苦労したこと

イベント の工夫

季節を感じられるようなイベントを実施
交流が生まれるようなイベントを実施

スタッフへ の工夫

スタッフも楽しめるように強制参加にしない
自発的に集まってくれた仲間を実施
下の名前の名札をつける
定期的にスタッフ間での意見交換をしている

広報の 工夫

保育園や子ども会のLINEグループで広報
町内会掲示板にチラシを貼ってもらう

3

取り組みにあたり 工夫したこと・苦勞したこと

苦勞 と解決

場所の選定・・・

牛田新町社会福祉協議会の協力により、
牛田新町集会所を選定
保健所や区役所に食事提供の確認

情報収集・・・

東区社協の協力によりNPO法人広島子ども食堂
支援センターと連携
保健所への連絡等、ノウハウを学ぶ

チラシ作り・・・

地域包括支援センターが作成

ただ、苦ではなかった

4

取り組んでよかったこと

色々な人とのつながりができた

親しみを込めて下の名前で呼んでくれる

参加して下さる人は 常連や通りすがりの人など
様々な方々 これまで知らない人と出会えた

喜び 楽しんで 笑顔で過ごしてくれている

「また来ますね」と声をかけてくれ励みになる

4

区社協として 取り組んでもらえてよかったこと

子どもたちが「斜めの関係」をつくれる場である

様々な人の「第3の居場所」となり得る場である

スタッフさんたち自身がやりがいを感じ、輝ける場である

4

包括として 取り組んでもらえてよかったこと

多世代交流や特技を発揮する場になっている

高齢者施設の入居者も参加してくれている

孤食の人が他の人と食べる喜びを感じてもらえた

5

今後したいこと
(目指す活動・方向性・活動の予定)

聴覚障害の方がいるので手話を習いたい

災害時の炊き出しに役立てたい

スタッフが長続きできるように頑張りたい

6

ネットワーク会議参加の
他団体等に協力をお願いしたいこと

食材が余っているとの情報があるが
取りに行く手段がない

ご清聴ありがとうございました

